

## 朝夷奈切通からはじまる歴史資料のオープンデータ化プロジェクト

応募チーム名：横浜市立大学・金沢研究会 自治体：神奈川県横浜市金沢区・鎌倉市連携

### (特徴)

横浜市金沢区では、区内の大学との連携強化に取り組んでおり、学生の地域活動などを支援する「サポート事業補助金」制度がある。その対象に平成 29 年度から「金沢プロムナードづくりプロジェクトチーム」の活動があり、そのなかで、朝夷奈切通を含む歴史的な街道にまつわる情報について、オープンデータ化に取り組んでいる。そして街道という特性から、鎌倉市とも連携して進めている。<sup>1</sup>具体的には、①データを作る、②データベースサイトを作る、③そのデータを活用してもらうという形で、長期的な視点で並行的に進めている。<sup>2</sup>

	2018年度 後期	2019年度 前期	2020年度 後期	2021年度以降
Step 1 データ作る	金沢区が持っている歴史資料の調査	鎌倉市には、鎌倉市の歴史、学生の地域活動、市民の歴史資料の調査とデータ化	鎌倉市でデータ作成	
Step 2 データベース サイトを作る	金沢市立 大学に公開	金沢市立大学に公開	金沢市立大学に公開	
Step 3 データの活用	Webアプリ で公開	Webアプリ で公開	Webアプリ で公開	
行政との連携	「Campus Town Kanazawa」プロジェクト 推進委員会 発足	「Campus Town Kanazawa」プロジェクト 推進委員会 発足	「Campus Town Kanazawa」プロジェクト 推進委員会 発足	
他団体・市民 との連携	市民団体・市民との連携	市民団体・市民との連携	市民団体・市民との連携	
学生の動き	学生の動き	学生の動き	学生の動き	

### (アドバイス)

#### 1. 本プロジェクトの一つの方向性

応募資料の活動計画表には、歴史資料のほか、地元企業社史、市の広報誌、学校記念誌、その他祭りの写真などが並べられています。地域という地理的空間の上で、時間的にも分野の広がりでも、人間集団は多彩な活動を繰り広げています。この地理的空間の上での諸活動をそれぞれがばらばらでなくつながったものとしてとらえられる、例えばそんなストーリーをヴァーチャルで体験できる、そんなプロジェクトに育って、この地域の魅力発信、愛着の醸成にさらに貢献できることを期待しています。

#### 2. Step 1：プロジェクトの基礎となるデータの統一フォーマットによるオープン化

本プロジェクトでは歴史データを統一フォーマットで、CSV形式でまとめています。オープンデータの観点でいえば、このCSV形式でまとめたデータ自体をまず生データとして公開して欲しいと思います。

#### 3. Step 2：収集整理した生データの見える化

Step 1 で得られたデータの見える化の有力な方法が、金沢区の提供する金沢写真アルバムの活用と独自開発のみちあるきアプリ（両者の連携も視野）だと思っています。これについて、さらに、利用者目線で、使いやすくなりやすくするには、利用者のペルソナを想定して、思考実験を重ねて、学生主催のオープンワークショップなどにより改善提案を続けて欲しいと思います。

#### 4. Step 3：特定の利用を意識した取り組み

チームすでに検討されているように、収集作成したデータの活用が重要で、一般向けとは別に、地域の小学校での活用が望まれます。このためには、用語や見え方をはじめとして、Kids版の使いやすいアプリが不可欠で、これにも挑戦して欲しいと思います。

#### 5. 金沢区役所と鎌倉市役所の継続したサポート

本プロジェクトは、①地域の発展をめぐる大学の行政との連携事業、②隣接自治体間の連携の在り方の事業という二つのモデル事業の意義があります。本プロジェクトの主体となる横浜市立大学による地域活動に取り組む学生への指導やサポートと共に、プロジェクトの成功に向けて両自治体からの継続的なサポートを期待しております。

<sup>1</sup> <https://kanazawapromenade.localinfo.jp/>

<sup>2</sup> なお、横浜市と鎌倉市は国指定史跡の整備・活用を連携して進めている。